
能なしクンの初逮捕

海上なつ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

能なしクンの初逮捕

【Nコード】

N3324F

【作者名】

海上なつ

【あらすじ】

ダメな警官が、罪を犯して逃走する者を逮捕しようとする。主人公の警官を主体とする、容疑者とその人質の、三人の会話形式で話は進む。だが、とてつもなくくだらない内容。始めから結末まで全てが意外で予測不可能。

『パイガツガ 高速道路にバナナの皮を大量に捨てて逃走した容
疑者を追え！ ピッ』

了解。

よし、ヤツを車で追い込んだぞ！

降りてきたな！……ん？人質がいたのか！
く、これではへたに動けない。

「かなり暇なんだな、警察さんよお？」

バナナの皮七十九本も集めたお前に言われたくない。
まさか、ごみ箱から漁ったんじゃないだろうな？

それとも いや、いい。

あと一応断っておくが、数えたのは他のやつだぞ。

「気になるのか？オレがどうやって収集したか」

「激しくどうでもいいわ！早く助けて〜！」

あ、おい、人質を放しなさい。

「ごめんだね」

いいか、お前のせいだな、大型車が大量に滑ってぶつかる大事故が
大発生して、それによって大渋滞を招いたんだぞ！

大勢が大迷惑してるんだよ！

お前の犯した罪は重い。どのみち捕まるんだ。

「……よく分かんないけど、この人すごい悪そうだわ」

「オレがやったって証拠は？」

今の状況で一目瞭然だ。

ちよ、とにかく、人質の喉にチョコバナナを向けるのは止めなさい。
刺さったらどうするんだ！

バナナを隠したつもりだろうがな、調べればすぐに、それが捨てた
皮の中身だってバレるんだからな！

「料理してあるぜ？この短時間でチョコをつけられないだろ？」
だからなんだ！

「人間をそうやって疑ってばかりだから、アンタ達は嫌われるんだよ」

そ……んな……はは、そうだったのか。だから、なるほど、そうかもな。

分かった。じゃあ署の方で話を聞こうじゃないか。

「ダメだ。どうせそう言って捕まえるんだろ」

反抗期か？

「まだだ……」

ん？反抗期まだきてないのか？それは大変だ。

アイツもなかなか反抗しなくてなア、心配にな はあ。

すまん。で、何だ？

「最高の結末を用意してあるから、せいぜい楽しみにしときな」

『ピーイガガ 車から飛び出したある人の頭部に、故意に殴られたような妙な傷跡が発見された。ヤツがやった可能性が強いが、詳しくは調査中だ。あと、忘れていたが通行人の女性が人質にとられた。以上！ ガがつピッ』

「今頃かよ！……あたしって一体」

お前がやっただろ？

凶器の見当もついている。恐らく 冷凍バナナだ。

「冷凍したのは認める」

まさか、その黒ずんでチョコに見えるもの……血液なんじゃ！？

「ただ言えるのは、このバナナはもう食えないってことだ」

や、やはり！

「おっと、もう時間がねえ。まるで何も知らない可哀想な能なし警察クンには、特別にヒントを教えてやるう」

何だと？

「オレの今までの発言の一字一句を順番につなげてみな　　といつても、覚えてないだろうがな」
ふ、やるな。

だが残念だったな。

スクロールという技を身につけている私には、それが可能となる！
はっはっは！待ってるよ！この私がお前を捕まえてやるからな！

「さてと、能なしクンは今頃過去に戻ってるだろうから、そのうちに退散するとするか」

「あたしはどうなるの？」

「あんたの選択肢は二つだ。仲間になるか、ここでぬいぐるみになるか」

「仲間になるわ」

「よし」

「だってチヨコバナナの串に刺さって死ぬなんてカッコ悪いもの。ていうかそれ、熱湯ゴキブリばりに臭いんだけど！近づけないでよ！チヨコで誤魔化してるけど、中身も茶色じゃないの！」

「当たり前だ。何か月前のもんだと思ってるんだ」

「知らないわよ」

「まあいい。行くぞ」

「はいはい」

「『はい』は一回！」

「へいへい」

「……」

「ていうか、仲間って何の！？」

「……だから、その」

「さっきの『最高の結末』って何？」

「結婚しよう」

「は？」

「ふつ、まさかの結末だろ？」

あれ？ あいつ、どこ行った？

…… 今日もダメだったか。

はあ、また上に怒られるや。

…… ん？

何で怒られなきゃならないんだ？

まあ、いつか！

バナナアイス買って帰ろつと。

あ！人が倒れてる！どうされました？

って、お前かよ！

「あの女、世界大会……出場者……」
は？

ああ、どおりで見たことある顔だと思ったんだ。
柔道の選手か。

最高の結末をありがとう。 お疲れ様。

（後書き）

ありがとうございました。

ここまでついてこられた方は優秀な読者です！

思いつきの意味不明なコメディ小説（小説といって言いのか？）
を書いたのは初めてなので、多少緊張しますね（笑）

次はちゃんとした推理ものを書きます。

それではまた、次の機会に。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3324f/>

能なしクンの初逮捕

2010年10月15日22時23分発行